けんこうさろん

KENKO SALON

医療と病院の最新情報をわかりやすくお伝えし、すこやかライフをサポートします。

NO. 191 2012 AUTUMN



特 集

地域医療に貢献する

最新画像診断

病院ウォッチング・リポート

放射線治療室

ズームアップけんこう

レビー小体型認知症

スコープ 医療・健康・予防

けんこうスクエア

医療用語の基礎知識

季節の「食」を楽しもう

地域医療に貢献する
最新画像診断

地域の中核病院として、CT や MRI による画像診断を積極的に行ってきた東海大学大磯病院に、今年の 4 月、新たに冠動脈撮影にも対応した高性能 CT と血管撮影装置※1が導入されました。これによって、さらに質の高い画像診断が実現し、地域医療への貢献に期待が高まっています。

※ 1 ／薄型半導体検出器（FPD : frat panel detector）を用いた血管造影装置



イラスト／mio

監修



東海大学大磯病院
放射線科 医長
岩田 美郎 先生

「今後は、さらに地域医療との連携を深め、導入された最新型機器の利用だけではなく、本病院の診療体制も活用していただき、ともに地域への貢献を果たしていければと考えています」

X 線の発見から百有余年。大きく発展した画像診断の領域

現在の放射線画像診断の基礎となるX線（エックス線）は、1895 年、ドイツの物理学者レントゲン博士によって発見されました。真空放電の実験をしていた際、物を突き抜ける光線のようなものを発見し、そこに手を重ねてみると骨の形がよく見えたといいます。これが、未知の光線という意味で名づけられた「X線」です。この発見が医学の分野で応用され、体の中でおきているさまざまな病変を、体の外から診断する（診る）ことの研究が盛んに行われました。

さらに、X 線を利用しつつも、その受け側をフィルムではなく、X 線検出器とし、コンピュータによる計算で画像を作るのが CT です。Computed Tomography（コンピュータ断層撮影）の略で、1967 年にイギリスで開発され、瞬く間に全世界に普及しました。X線で人体の内部構造を断層像（輪切り）として表示する機器です。機械本体はドーナツ型をしており、短時間で検査ができ、それでいて多くの情報を得られることから、現在、医療の現場で頻繁に用いられています。

管球（X線が出る部分）と対になった検出器が体の周りを回転し、体を通過したX線をコンピュータを使って数値化し、白黒表示の画像にします。寝台を動かしながら撮影するものをヘリカル CT といい、複数の検出器を備え、1回転で複数の画像を得られる機器をマルチスライス CT と呼びます。



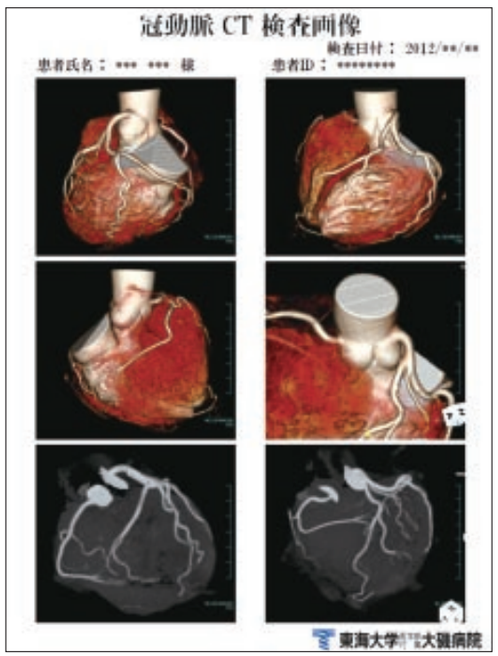
1 東海大学大磯病院に新規導入された 128 列マルチスライス CT。1 回転 0.3 秒という高速回転で、0.6 ミリごとの断層画像が撮影できる。



2 開口部が 78 センチと大きく、撮影範囲は 2 メートルなので、頭の先から足の先まで全身撮影が 10 秒で可能。

最新型の高機能画像診断機器を導入し、地域医療に貢献

東海大学大磯病院に導入された CT は、最先端の性能を持つ最新型 128 列マルチスライス CT です。全身の各臓器の情報をより短時間で撮影することが可能です。さらに、高精細な撮影が行えるので、人体内部をあらゆる方向から三次元画像に描画することができます。特に、今まで撮影が難しかった心臓領域においても、造影剤（血管を写す薬）を注射して10秒程度の息止めで検査が可能です。狭心症や心筋梗塞の原因となる心臓の冠動脈の狭窄や



東海大学大磯病院の 128 列マルチスライス CT で撮影した心臓の冠動脈の検査画像。主治医から、結果説明とともに患者さんに手渡される。

閉塞を、明瞭な三次元画像や動画として瞬時に抽出することができます。

今や医療の現場で欠かせない要素となった画像診断。病気を体の外から診て、よりよい治療へとつなげる役目を担っていますが、コンピュータ技術の進歩とともに、より高度な専門知識・技術が求められるようになってきました。そのため、的確な診断を導き出すスキルを持つ専門医の存在も、大変重要なポイントとなります。

「どれほど高性能の機器であっても、それを扱うのは“人”です。診療放射線技師、私たち放射線科医、そして主治医が、それぞれの専門知識・技術を駆使し、共同で診療にあたる体制こそが重要です。新しく導入したCTも、こうした確かな診療体制がなければ、その機能を十分に活かすことはできません。本病院では、画一的な検査手順にとらわれずに、患者さん一人ひとりに対してきめ細かい対応を行うことによって、より的確な診断・治療を実現させています」（岩田先生）

また、血管撮影装置（アンギオグラフィー）は、手首や太ももの付け根など比較的太い血管から細い管（カテーテル）を入れて、目的の場所まで進め、造影剤を注入してX線撮影を行います。血管の形や血液の流れを調べる装置で、血管の画像から病気を診断するだけでなく、直接治療薬を注入したり、細くなった血管を広げたり、血管をふさいで出血を止めるなどといった治療、IVR（Interventional Radiology：インターベンショナル・ラジオロジー）も行うことができます。東海大学大磯病院に導入された機器は、さらに大画面のマルチスクリーンが大きな特徴となっています。


東海大学大磯病院の血管撮影装置。検査や治療に必要なデータを瞬時に映し出すことができる56インチの大型マルチスクリーンが特徴。

「血管造影検査は、血管に挿入されたカテーテルをX線で透視しながら慎重に行います。このとき、事前に撮影したCTの3D画像や、血管内に入れた超音波装置による画像などを、大きなマルチスクリーンに同時に表示して、確認しながら手技を行います。このような環境




東海大学大磯病院
循環器内科 医長
清岡 崇彦 先生

心臓病の早期発見・早期治療を実現

4月から導入された128列マルチスライスCTで、心臓を取り囲む冠動脈の撮影が可能になりました。血管の狭窄や動脈硬化の兆候を早期に発見できるようになったことで、東海大学大磯病院における心臓病治療は、大きく飛躍したといえるでしょう。

心臓病として、昨今、急増しているのが虚血性心疾患です。これは、心臓を取り巻く冠動脈の血液の流れが悪くなり、心筋への酸素が供給されにくくなる病気です。酸欠状態が一時的なものが狭心症、酸欠状態が長く続いて心筋の一部が壊死をおこし、命を脅かすのが心筋梗塞です。どちらも、目立った自覚症状がなく、胸や首などに痛みを感じる発作をおこして病気の存在を知るという例が多いのが現状です。特に、糖尿病や高血圧症、脂質異常症を患っている方は、生活習慣の見直しに努めるとともに、定期的に冠動脈のCT検査を受けて、状態を把握しておくことが重要です。

「糖尿病は、動脈硬化と密接な関係があり、特に注意が必要です。さらに、慢性化した糖尿病の合併症の一つである神経障害によって、狭心症などの痛みの発作に気づかずに、放置してしまう例も少なくありません。本病院は、糖尿病の患者さんが多いのも特徴の一つであることから、腎糖内科の医師と連携しながら、リスクの高い患者さんに対しては、冠動脈CTによる心臓の精密検査を受けていただくようにしています」（清岡先生）

冠動脈CT検査によって、重度の動脈硬化や狭窄が発見された場合は、さらに血管造影を行い、カテーテルを使った治療へと移行します。

「本病院における心臓カテーテル治療は、患者さんの体への負担を最小限にとどめるために、可能な限り手首の血管からカテーテルを入れます。このカテーテルを使って、狭くなって血流が滞っている部分に、バルーン（風船状のもの）を入れたり、ステント（筒状のもの）を入れて血管を広げていきますが、狭窄の程度が軽い場合などは、数十分程度で行うことができます」（清岡先生）

このように手首から行う心臓カテーテル治療は、太ももの付け根から行う場合と比べて、治療後の安静時間が少なくすみ、治療が終わってすぐに歩くことも可能です。

「高齢者の多い近隣地域の診療所やクリニックの先生方にも、本病院の検査機器や治療体制を活用して、積極的な心臓病予防に努めていただくことで、地域医療に大きく貢献できると考えています」（清岡先生）


1 血管造影には、医師、診療放射線技師、臨床工学技士、看護師など多くのスタッフがチームとなってかかわる。


2 手首の血管から、カテーテルを挿入。出血もほとんどなく、患者さんの負担が軽くすむ。

の整備が、緻密な技術が要求される血管造影検査や、カテーテル治療にとって大きなサポートとなります」（岩田先生）

画像診断支援システムの導入によって、医療連携を深める

これらの最新機器の導入に合わせ、東海大学大磯病院では、PACS（医用画像診断支援システム）を取り入れました。以前は、膨大な診断画像はフィルムに現像した状態で保管・管理されていましたが、デジタル化することによって、フィルムではなくコンピュータのデータとして扱えるようになりました。CT、MRI、X線、血管造影などさまざまな画像診断装置からの画像を一元管理することができます。診療情報をコンピュータで管理する電子カルテシステムとともに導入している医療機関もここ数年で増加しています。

PACSの導入によって、写真の現像という作業や、持ち運びなどの手間もなくなり、コンピュータネットワークによって院内のどこからでも、診断画像を瞬時に確認できるようになりました。また、診療の場でも、コンピュータのモニターに画像を映し出して、患者さんにわかりやすく説明することが可能です。

「今回の画像診断機器導入に合わせて、PACSを稼働させました。画像保管の効率化を図る以外に、過去の検査結果との比較がいつでも簡単にできる点も大きなメリットといえるでしょう。過去数年間にわたる検査と併せて最新の画像を読影すれば、精密検査が必要でないと判断できることも多く、患者さんの負担も大幅に軽減します。また、地域医療機関との連携を活用し、通常は近隣のかかりつけ医を受診しながら、精密な画像検査が必要な時には本病院を利用していただくこともできます。このたび導入した最新の画像検査機器は、近隣地域の診療所やクリニックの先生方にも、大いに活用していただきたいと考えており、そのための勉強会や講演会なども積極的に行っていく予定です」（岩田先生）

第33回中郡医療フォーラム



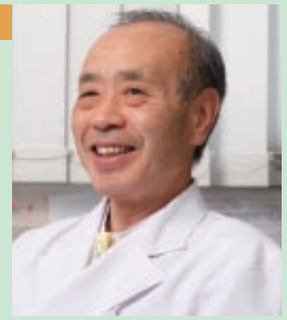




東海大学大磯病院と社団法人中郡医師会が共催で行っている「中郡医療フォーラム」の第33回が、7月5日、東海大学大磯病院5階青松ホールにて開催されました。これは、地域中核病院として、近隣の診療所やクリニックの先生方と最新医療情報の共有化を図り、より密接な連携によって地域医療に貢献していくための講演会です。当日は、岩田美郎先生（東海大学大磯病院放射線科医長）による『病診連携におけるCT・MRI検査』と、清岡崇彦先生（同病院循環器内科医長）による『冠動脈CTによる虚血性心疾患の早期発見と治療』の2つの講演の後、参加した医師会の先生方と、院内の医師・職員の間で活発に意見交換が行われました。この中郡医療フォーラムは、年2回、定期的に開催されており、地域の医療機関同士の活発なコミュニケーションを促す機会として、今後も積極的に継続される予定です。

検査室最前線

「より速く、より質の高い画像」を目指して



東海大学大磯病院
診療協力部 次長
放射線技術科 科長
安藤 孝治

本病院は、比較的、高齢化が進んでいる大磯町に位置することから、受診する患者さんもおのずと高齢の方が多いという特徴を持っています。そのため、昨年度までは、検査の際に、患者さんにつらい姿勢を長く保たせたり、息を数秒間止めるといった負担をなるべくかけないよう、十分に留意してきました。

今年4月から、2つの最新型機器が導入されたことで、たとえば頭部CTでは、今までのCTに比べ約4分の1程度の時間、3～4秒で撮影ができるようになり、あまりの早さに患者さんが驚かれることもあります。そのほかにも、画像の解像力が格段にアップし、詳細なところまで抽出できるので、心臓を取り巻く冠動脈の撮影も素早く行うことが可能になりました。

また、放射線機器更新を機に、すべての画像情報のデジタル化を図るため、PACSを稼働させました。放射線技術科は、CTなどのX線を利用した検査機器を実際に操作する部署ですから、1年ほど前からスタッフが一丸となってPACS稼働の準備に取りかかり、無事、今年4月からの稼働を実現させました。

私が、科のスタッフたちに常に指示しているのは、より速く、より質の高い画像を撮影すること。これは、患者さんを待たせることなく、どんな状況下にあっても常に工夫を重ね、診断に役立つ画像作成を目指してほしいからです。私たちが撮影する画像が、病気の早期発見・早期治療につながっているのだという強い使命感を持って、迅速かつ正確に業務に携わることが何より重要だと考えています。

また、地域の先生方とのコミュニケーションも大切にしており、画像データを単に送るだけではなく、フィルムやCD、ペーパーなど相手方の環境に合わせた形で渡すようにしています。場合によっては、技師が相手先へ直接出向き、画像の見方などを説明することもあります。

これからも、地域との連携を深めながら、より地域医療に貢献できる体制づくりを図っていきたいと考えています。（談）



診療放射線技師によるCT撮影の様子。医師からの検査オーダーの撮影部位、撮影目的などを確認しながら、慎重に操作する。

※診療放射線技師／病院・診療所などの医療機関において放射線を用いた検査・治療を業務とする、国家資格を有する医療職。


1


2

1
新規導入された高精度放射線治療機器「ノバリス-TX」は、全国でも、まだ導入例が少ない最新鋭の機器。大きなアームの中心から、放射線が照射される。

2
機器のさまざまな部分の回転・移動などの操作は、手元のスイッチで容易に行うことができる。


3

3
コントロール室。モニターに映し出されたデータを入念に確認しながら、慎重に治療が進められる。

病院ウォッチング・リポート …… 八王子市／東海大学八王子病院

[放射線治療室]

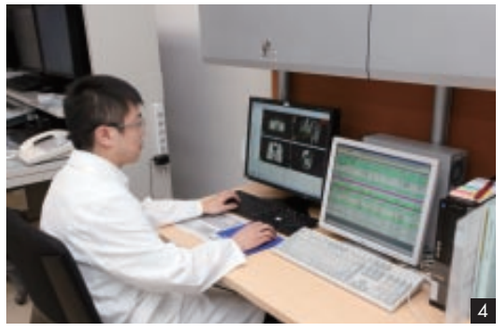
今や、手術、化学療法と並んでがん治療の３本柱の一つとして重要な役割を担っている放射線療法。実は100年以上にわたって、がんの有効な治療法として使われてきており、安全かつ効果的に放射線を治療に利用するためにさまざまな工夫がなされてきました。今回は、東海大学八王子病院に新たに導入された高精度放射線治療機器の威力をご紹介します。

最新鋭の放射線治療機器でがん治療に取り組む

がん治療は、手術、化学療法（抗がん剤治療）、放射線療法を３本柱として、それらを組み合わせて治療を行う集学的治療が主流となってきました。特に、放射線療法は治療機器の進歩とともに、患者さんの体への負担が少ない治療法として、今後、さらに普及することが期待されています。

放射線療法は手術と同じく、がんとその周辺のみを治療する局所治療ですが、手術と異なり、臓器を摘出しなくてすむため、日常生活への影響が小さい治療方法といえます。放射線が、がん治療の手段として使われ始めてから100年以上が経ちますが、放射線治療機器の技術開発に加え、放射線が生体にどう働くかといった放射線生物学やコンピュータ技術が発達し、近年、治療技術が急速に進歩してきました。さらに、がん組織にのみ放射線を照射できるようになったことで、より治療効果が高くなり、しかも副作用の少ない放射線治療が実現してきています。

地域のがん治療の担い手となるべく、あらかじめ放射線治療室の設置を想定して建設された東海大学八王子病院に、今年４月、最新鋭の放射線治療機器が導入され、放射線治療専門医が治療にあたっています。


4

4 担当する専門医は、あらかじめ撮影した検査画像を分析し、より効率的かつ安全に治療が行えるように治療計画を立てていく。

「導入されたのは、がんの病巣だけをピンポイントで照射できる高精度放射線治療機器です。刻々と変化する人間の体の動きに対応するため、３種類の画像装置を備えています。治療寝台上での体表の動きを赤外線で、骨格の動きをＸ線透視画像で、内部臓器の動きをCT画像で把握して照射位置を最終決定するので、病巣を的確に捉えて治療できます」（菅原先生）

専門医による精密な治療計画に沿って短時間の照射で高い効果を上げる

放射線治療には、専門医のほかにさまざまな職種のスタッフがかかわります。専門医は治療方針を決定し計画を立てるほか、治療中および治療終了後の診察を行います。放射線技師は、機器を操作して治療部位に放射線を照射するほか、機器の保守管理なども行っています。医学物理学の専門家として治療に加わる放射線物理士は、最適な照射方法、線量分布などを専門医とともに決めていきます。このように、専門知識・技術を持つスタッフがチームとなって、放射線治療に携わります。

放射線の種類はいくつかありますが、放射線治療では、それらの放射線を安全かつ効果的に使って、がんやその他の病気を治療します。ほかにも、手術の前に放射線治療を行って、がんをできるだけ小さくして切除範囲を狭めたり、手術の後に、残ったかもしれないわずかな腫瘍（しゅよう）を破壊するといった目的で使われることもあります。


5

5 放射線治療室のスタッフ。治療を受ける患者さんのケアを行う看護師も欠かせないチームメンバー。

「治療前に撮影したCT画像をもとに立てた治療計画をコンピュータにプログラミングして、実際の治療に臨みます。たとえば、前立腺がんの場合、隣接する直腸に影響を与えず、がんの病巣へピンポイントで照射することができるため、より高い治療効果をあげることができます。欧米では、がん患者さんの５～６割が、なんらかの形で放射線治療を受けていますが、日本では２～３割といわれており、今後、さらに本格的に普及することによって、がん治療の在り方も大きく変わると予測されています」（菅原先生）

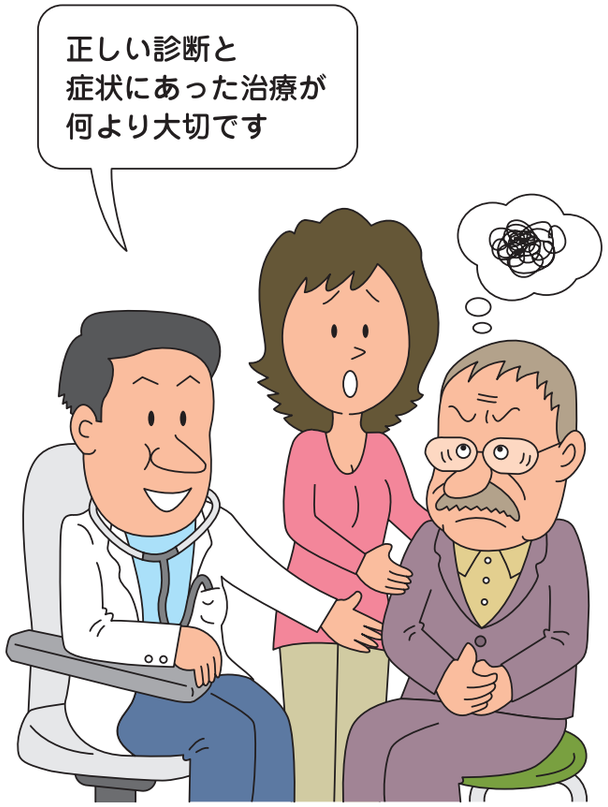


東海大学八王子病院
放射線治療科 准教授
菅原 章友 先生

「本病院が導入した治療機器は、がんの病巣をピンポイントで照射できるだけではなく、さらにがんの部分の形に合わせて強弱をつけて照射することができる高機能も備えています。態勢が整い次第、実際の治療に取り入れていく予定です」

ZOOM けんこうUP [レビー小体型認知症]

今後、ますます高齢化が加速し、認知症の患者さんも比例して増えることが予測されます。その原因や抜本的な治療法についての研究が盛んに行われていますが、すべてが解明されるには、もう少し時間を要するようです。今回は、近年、その存在が注目されているレビー小体型認知症について解説します。



イラスト／伊藤 文人

監修



東海大学大磯病院
神経内科 助教
大貫 知英 先生

「レビー小体型認知症についての研究は、まだ始まったばかりで、これからさまざまなことが解明されていくと思います。今後、誰にとっても身近な病気になると推測される認知症ですから、正しく理解して対処していただきたいですね」

ZOOM けんこうUP 病気の特徴と症状

3大認知症の1つで アルツハイマー型の次に多いタイプ

日本での認知症患者数は年々増加し、現在では85歳以上の高齢者の4人に1人が認知症だといわれています。今後、さらに患者数が増え、2020年には300万人近くにまで達するという予測もあります。認知症は、患者さん本人だけでなく、介護する家族の問題にもなりますから、介護者を含めると膨大な数の人が認知症の問題を抱えることになります。

認知症の症状の代表的なものに、もの忘れがありますが、年齢を重ねるうちに、人や物の名前を思い出しにくくなったり、もの忘れがひどくなるといった記憶障害の症状を自覚するようになります。これは、誰もが避けることのできない加齢現象ですが、中には「病気」の症状として記憶障害が現れる場合があります（右ページ上の表）。脳の神経細胞が何らかの原因によって侵され、記憶をはじめとする脳機能が低下して生活障害が出現する状態のことを、認知症といいます。

脳の神経細胞が壊れてしまう原因はさまざまで、頭蓋内の病気によるもの、身体の病気によるものなどがあります。代表的なものとして、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、脳血管性認知症の3つがあげられます。

レビー小体型認知症は一般の方にあまりよく知られていませんが、実はアルツハイマー型認知症に次いで、2番目に多いという報告もあり、大脳皮質の神経細胞内に生じた「レビー小体」という物質が大脳皮質全体に出現することでおきる認知症とされています。1976年に日本の医師が、認知症患者さんの大脳にレビー小体を見出し、1984年に「びまん性レビー小体病」という病気の概念を提唱したことが国際的に広まり、現在の名称となりました。それまで、アルツハイマー型認知症、またはパーキンソン病と診断されていた患者さんの中にも、レビー小体型認知症の患者さんが多く含まれていたと推測されており、発症頻度も高いことがわかってきました。

また、認知症の初期症状は、もの忘れと思われがちですが、レビー小体型の場合は、初期の段階ではもの忘れの症状が目立たないことが多いとされています。特徴的な症状としては、幻視、運動障害、うつ症状、自律神経の障害があります。

加齢に伴う「もの忘れ」と認知症の「もの忘れ」の比較

加齢に伴う「もの忘れ」	認知症の「もの忘れ」
体験の一部を忘れる	体験の全体を忘れる
記憶障害だけが見られる	記憶障害に加えて、判断や実行機能に障害が生じる
もの忘れを自覚している	もの忘れの自覚に乏しい
探し物を見つけようと努力する	探し物を盗まれたと思い込むことがある
見当識障害は見られない	見当識障害が見られる
日常生活に支障はない	日常生活に支障をきたす
きわめて徐々にしか進行しない	進行性である

？ 見当識障害とは

自分を取り巻く環境、時間、周囲の人物や状況を正しく認識する能力を見当識といいます。障害が生じると、季節や日時がわからないばかりか、自分が置かれている状況や友人や家族もわからないといった症状が現れます。

レビー小体型認知症の症状

アルツハイマー型認知症に似た症状

時間と場所の認知障害、気分や態度の変化、判断力や見識の低下、注意力散漫 など

パーキンソン病に似た症状

固縮（手足の筋肉が硬くなること）、ひきずるような足取り、前傾姿勢、弱々しい発声 など

その他の典型的な症状

幻視、無秩序な態度、睡眠障害、うつ状態、自律神経の機能障害 など

●幻視

実際にはそこに存在しない人や虫、動物などが見えます。たとえば、「壁に虫が這っている」「見知らぬ女性が家の中にいて、こちらをじっと見ている」「子どもがたくさん来て、テーブルの周りを走り回っている」など、実際にはない状況が目の前でおきているかのように、鮮明に見えます。

●運動障害

中枢神経系にある錐体外路系という部位の障害によって、手足が震える、姿勢を保つこと

が難しくなる、小刻みに歩く、動きが遅くなる、転びやすくなる、顔の表情が乏しくなる、食べ物や飲み物などの飲み込みが悪くなるといった、運動や体の動きを自分で調節することが困難な状態をいいます。パーキンソン病に多く見られる症状でもあります。

●うつ症状

日によって、気分がふさぎがちになる、意欲がわかないといった症状が出ます。

●自律神経の障害

立ちくらみや失神、尿失禁や便秘などの症状が見られることもあります。

診断と治療

他の病気と混同されやすい症状が多く現れるため、専門医による診断が必要

前述のように、レビー小体型認知症は、初期の段階では、もの忘れ以外の症状が顕著なため、見極めが難しいとされています。

「レビー小体型認知症は、アルツハイマー型認知症とパーキンソン病の両方の症状を併せ持つという特徴から、正確な診断が難しいのは事実です。しかし、最近、レビー小体型認知症への周知がなされてきたこともあり、初期の段階でも、問診や診察によって正しく診断をすることが可能になりました」（大貫先生）

受診の際には、神経内科などの専門医がいる医療機関で正しい診断を受けることが重要です。さらに、患者さんご本人だけでなく、日常生活における言動・行動を客観的に判断するために、ご家族と一緒に受診することをお勧めします。

医師の問診のときは、次のようなことをしっかりと伝えましょう。

①いつ頃から、どのような変化がおきたか。
②それをどのように感じたり、受け止めたりしたか。
③生活はどのように変化したか。
④並行して体の不調があったか。あれば、どのような不調か。
⑤家族に似たような症状があるか。

「アルツハイマー型認知症の診断には、問診や診察に加えて脳の形態を調べるＭＲＩなどの画像検査や血液検査が有効です。レビー小体型認知症の場合は、現在のところ、脳の血流を調べる核医学検査などの精密検査が有効とされていますが、神経内科の専門医による問診と診察を合わせた総合的な判断が重要です」（大貫先生）

早期発見が極めて重要。症状に合わせた治療で進行を緩やかに保つ

認知症は、脳の神経細胞がなぜ減少するかが解明されていないため、現状では病気を根治することは困難です。また、どのような原因によるものでも、一度失った脳の機能を元に戻すことはできません。そうした意味では、認知症の早期発見は極めて重要で、治療開始の時期が早ければ早いほど、症状の進行を遅らせることができます。

レビー小体型認知症の治療は、薬物療法が一般的で、症状の度合いによって、アルツハイマー型認知症で用いられる「コリンエステラーゼ阻害薬」という薬が有効とされています。また、運動障害の程度が強い場合は、パーキンソン病の治療薬を用います。いずれにしても、症状に合わせて薬を組み合わせながら治療を行っていきます。

周囲の対応と日常生活

日常生活の工夫と周囲の配慮によって進行を遅らせることが可能

レビー小体型認知症は、その重症度がわかりにくい面があります。幻視の症状については、同居する家族が患者さんの訴える幻視を強く否定すると、うつや不安障害を招くこともあるので、注意が必要です。

また、一人きりでいると症状の悪化につながりますので、家族との同居やホームへの入所など、人と接する環境を維持するようにしたほうがよいでしょう。

「レビー小体型に限らず、認知症は、歳だからと諦めずに、症状が軽いうちから治療を行えば、その分進行を抑えることができるといわれています。さらに、症状が進行する前に、治療やケアに関する希望や、今後の生活設計などを、家族と話しておくとよいでしょう。現在、認知症に対する研究は世界中で活発に行われていることから、近い将来、さらに効果の高い治療薬の登場も期待できます」（大貫先生）

パーキンソン病

ゆっくりと進行する原因不明の神経変性疾患で、日本では難病（特定疾患）に指定されています。日本でのパーキンソン病患者数は、人口1000人当たりに約1人といわれており、全国で10万人以上と推定されています。50～60歳代で発病することが多いのですが、70歳代以上の高齢者や40歳以下の若年層で発病する場合もあります。脳の中の神経伝達物質のドーパミンが減少しておこる病気とされていますが、その原因についてはまだ十分に解明されていません。症状は、小刻みに歩く、関節が動きにくくなる、体が傾くといった運動症状のほかに、便秘や立ちくらみなどの自律神経症状、睡眠障害、気持ちがふさぎ込むなどの精神症状が認められます。なお、東海大学大磯病院では、専門外来として、パーキンソン病外来を開設して、さまざまな治療を行っています。

正確な処方箋調剤・適切な指導
栄養士による各種疾患に対する食事のアドバイスや
治療食（減塩・無塩・カロリー調整・低蛋白食品など）の相談販売



望星薬局
■本社　伊勢原市桜台 2-1-28
tel. 0463-91-4193（ヨイクスリ）　fax. 0463-91-8966
http://www.bohseipharmacy.com
BOHSEI PHARMACY

■望星薬局 0463-94-4193　■望星沼目薬局 0463-92-4193　■望星北浦和薬局 048-822-9381
■望星本町薬局 0463-92-1193　■望星おおね薬局 0463-76-4193　■望星西新井薬局 03-5691-1193
■望星大磯薬局 0463-71-9341　■望星秦野薬局 0463-85-1193　■望星水戸薬局 029-222-1193
■望星渋沢薬局 0463-87-4493　■望星代々木薬局 03-3370-1301　■望星横浜みどり薬局 045-989-4193
■望星平塚薬局 0463-33-1193　■望星築地薬局 03-3541-1193　■望星鶴見薬局 045-570-4193

スコープ 医療 健康 予防

伊勢原市／東海大学医学部付属病院

肝疾患医療センター

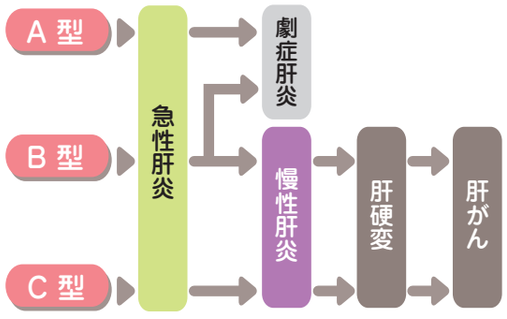
ウイルスが原因の肝炎、特にＢ型・Ｃ型肝炎は慢性化してしまうと、重大な肝障害を引きおこしかねない病気です。肝疾患医療センターは、地域の医療機関との円滑な医療連携と、一般の方々への肝臓病に対する啓発を目的とした活動を行っています。

ウイルス性肝炎から、肝硬変、肝がんへの進行を最小限にとどめるために

肝疾患の原因はさまざまですが、特に注意すべきはウイルス感染を原因とする肝炎で、主にＡ型、Ｂ型、Ｃ型があります。この中で慢性化してしまう可能性があるのはＢ型とＣ型です。現在、日本にＢ型肝炎の患者さんが約130万人、Ｃ型肝炎が約200万人いると推計されます。中でも、肝硬変へと進行し、肝がんを発症するリスクが高いとされるのがＣ型肝炎であり、ウイルスによる肝炎全体の約７割を占めるといわれています。

厚生労働省は、ウイルスによる肝炎について、①検査体制の推進、②診療体制の整備・研究の促進、③感染予防、④普及啓発・相談事業の推進が急務と考え、2007年度に肝疾患の診療ネットワークの確立を目指し、都道府県に「肝疾患診療連携拠点病院」の配備、2008年度にＢ型およびＣ型肝炎のインターフェロン治療に対する医療費助成制度、2009年度には肝炎対策基本法が制定されました。

ウイルス性肝炎から肝がんへ



東海大学医学部付属病院は、神奈川県の肝疾患診療連携拠点病院に指定されており、院内の肝疾患医療センターを中心に活発な活動を行っています。

「地域の医療機関と密接な連携を図って、肝臓病の診療を円滑に行うのはもちろんのこと、ウイルス性肝炎や肝臓病をテーマとした市民公開講座や、医療従事者向けに最新治療情報を提供する講演会などを企画運営しています。また、月１回、患者さん向けの肝臓病教室を開催し、通常の外来診察では十分に説明できない肝臓の基礎知識や、病態・治療についての講演と、管理栄養士による集団栄養指導を行っています」（白石センター長）

より効果の高い薬剤の登場によって積極的な治療が可能

肝機能の悪化など肝炎の発症が疑われるときは、すぐに専門医による診断・治療を受けることが重要です。Ｂ型肝炎には、主に薬によってウイルスの増殖を抑える治療法、Ｃ型肝炎には、ウイルス除去を目的とする、インターフェロン治療を行います。

「当初、インターフェロン治療は、Ｃ型肝炎ウイルスの遺伝子型によって薬の効果がない場合もあり、さらに強い副作用も引きおこすことから、治療を躊躇（ちゅうちょ）する患者さんも少なくありませんでした。しかし、薬が作用する時間が長いペグ（PEG）インターフェロンという新しい薬が登場し、ウイルス除去の成功率が上がりました。さらに最近、次々と新しい抗ウイルス薬が開発され、ペグインターフェロンと併せて使用することで、より高い効果が見込まれるようになってきています」（白石センター長）

日々の診察、療養に役に立つ情報をいち早く発信し、地域の肝炎治療に貢献

肝炎をはじめとする肝臓病は、目立った自覚症状がなく進行してしまうため、病気の兆しをいち早くキャッチすることが大切です。そのためにも、医療従事者側は、常に最新情報を取り入れた診療体制を敷くことが、重要なポイントとなります。

「たとえば、健診で脂肪肝を指摘されても、病気と考えずにそのまま放置されている方が多いようですが、脂肪肝から肝炎、肝硬変へと進行する例が増加していることが報告されています。いつの間にか進行してしまう肝臓病を防ぐには、正しい知識を持って生活習慣を見直すことが何より重要です。本病院の肝臓病教室では、こうした予防策も含めて、役に立つ情報発信に努め、肝がん撲滅の一助になればと考えています」（白石センター長）

東海大学医学部付属病院
肝疾患医療センター センター長
消化器内科 准教授
白石 光一 先生



Information「肝臓病教室」

東海大学医学部付属病院　１階集団指導室

毎月 第３土曜日　10:00～

主に、本病院に通院している患者さんとそのご家族に参加いただいていますが、一般としてご参加の場合は、ご相談いただくようお願いいたします。※当教室は集団栄養指導のため医療費がかかります。

■申込み・問合せ先／東海大学医学部付属病院　栄養科
TEL.0463-93-1121（代表）　内線：6650

- 第５回　●9月15日（土）
  慢性肝炎の病態と治療（担当医師：荒瀬）
  慢性肝炎の食事療法（管理栄養士）
- 第６回　●10月20日（土）
  肝硬変の病態と治療（担当医師：白石）
  BCAA 製剤について（薬剤師）
  肝硬変の食事療法（管理栄養士）
- 第７回　●11月17日（土）
  脂肪肝について（担当医師：広瀬）
  脂肪肝を改善する食生活（管理栄養士）
- 第８回　●12月15日（土）
  慢性肝炎の病態と治療（担当医師：荒瀬）
  慢性肝炎の食事療法（管理栄養士）
- 第９回　●1月19日（土）
  脂肪肝について（担当医師：広瀬）
  脂肪肝を改善する食生活（管理栄養士）
- 第10回　●2月16日（土）
  肝硬変の病態と治療（担当医師：白石）
  BCAA 製剤について（薬剤師）
  肝硬変の食事療法（管理栄養士）
- 第11回　●3月16日（土）
  肝臓病の総集編（担当医師：白石）
  食事療法の総集編（管理栄養士）



けんこうスクエア

『けんこうさろん』の編集および監修の協力を得ている医療機関のトピックス & ニュースをご紹介します。
詳しい情報を知りたい方は、各病院に直接お訊ねください。

東海大学医学部付属病院

幅広い領域の情報を
広く一般へ発信するとともに
教職員の啓発活動も積極的に行う



市民公開講座

日　時／10月6日（土）15：00～16：30　講堂B
テーマ／「地域に広がる緩和ケア
　　～緩和ケアの現場から～（仮題）」
講　師／財団法人ライフ・プランニング・センター　ピースクリニック中井　院長 永山 淳（予定）

第30回漢方教室

日　時／10月20日（土）14：00～15：30　講堂B
テーマ／「パワー不足を解消する漢方
　　～気力と体力を取り戻す～」
詳しくは、東洋医学講座のホームページにてご確認ください（http://kampo.med.u-tokai.ac.jp/）。

護身術講習会（教職員対象）



今年6月、伊勢原警察署から講師を招き、不審者への対処法や普段の心構えについて、実技を交えながら指導を受けました。

〒259-1193
神奈川県伊勢原市下糟屋143
TEL.0463-93-1121
URL.http://www.u-tokai.ac.jp/hospital/fuzoku/
受付時間　8：00～11：00
休診日　日曜日・祝祭日、毎月第2・4土曜日、年末年始
　　建学記念日（11月1日）

東海大学医学部付属東京病院

言語、音声のスペシャリストが
結集し、包括的診療を行う
ボイスクリニックセンター開設



東海ボイスクリニックセンター開設

言語・音声は、社会生活が円滑に行われるための手段として重要な役割を担っています。一方、喉頭がんで声を失ってしまった方々の代替え音声の獲得の重要性も広く認知されるようになってきました。東海大学東京病院では、音声障害と喉頭疾患の患者さんを主な対象とする東海ボイスクリニックセンターを開設しました。音声、嚥下（えんげ）、呼吸など喉頭疾患に対する専門性を有した医師やコメディカルスタッフが結集し、社会のニーズに合った総合的な治療を行っています。電子内視鏡、喉頭ストロボスコープなどの専門医療機器を備え、検査、手術、リハビリテーションまでの包括的診療を行っていきます。



〒151-0053
東京都渋谷区代々木1-2-5
TEL.03-3370-2321
URL.http://www.u-tokai.ac.jp/hospital/tokyo/hp/
受付時間　8：45～11：30
休診日　日曜日・祝祭日、毎月第2・4土曜日、年末年始
　　建学記念日（11月1日）

東海大学医学部付属大磯病院

開院以来取り組んできた
鍼灸治療で、地域の中核病院
として住民の健康に幅広く貢献



鍼灸治療室



1984年の開院以来、鍼灸治療を行っています。「ツボ」と称されるところに鍼やお灸（電気を使い温度のコントロールができる温熱療法）などによって、体の芯から血行・代謝を活発にして、疲れ・肩こり・冷えの改善に効果的な治療をしています。検査では異常がないのに、節々が痛む・疲れやすい・元気がない・風邪をひきやすいなどでお悩みの方、鍼灸治療室へお立ち寄りいただくか、お気軽に電話にてお問い合わせください。
鍼灸治療室　鍼灸師：高士（内線 6115）

第4回市民公開講座

地域住民に対する健康増進活動の一環として市民公開講座を開催しています。次回は、「糖尿病」と「ピロリ菌」を主題として、9月27日に開催する予定です。詳細については、大磯病院事務課までお問い合わせください。

〒259-0198
神奈川県中郡大磯町月京21-1
TEL.0463-72-3211
URL.http://www.tokai.ac.jp/oisohosp/
受付時間　8：30～11：30
休診日　日曜日・祝祭日、毎月第2・4土曜日、年末年始
　　建学記念日（11月1日）

東海大学医学部付属八王子病院

総合内科の開設によって、
さらに充実した診療体制で
地域中核病院の役割を果たす



総合内科が開設

4月から総合内科が開設されました。
●担当医：仁科良講師、鴨野真弘臨床助手
総合内科の外来では、診療科を特定できない患者さん、もしくは、既存の専門診療科で対応していない症状に対しても幅広く受け入れて、診療を行っています。

市民公開講座のお知らせ

「八王子学園都市大学いちょう塾」の開講講座で本病院の医師が講師を務めます。詳しくは、八王子学園都市センター／042-646-5621までお問い合わせください。
●10月6日（土）15：20～16：50
放射線科／長谷部光泉教授
血管内カテーテル手術の最新治療～体に優しく動脈硬化やがんを治して寿命を延ばしましょう！～
●11月10日（土）13：30～15：00
放射線治療科／菅原章友准教授
前立腺がんに対する放射線治療～密封小線源療法と放射線外照射療法について～

〒192-0032
東京都八王子市石川町1838
TEL.042-639-1111
URL.http://www.hachioji-hosp.tokai.ac.jp/
受付時間　8：00～12：00
休診日　日曜日・祝祭日、毎月第1・3土曜日、年末年始
　　建学記念日（11月1日）

医療用語の基礎知識

生理検査



東海大学東京病院
中央臨床検査科 科長
川上 千賀子

病院を受診して医療行為を受けるとき、ほとんどの場合、何らかの検査が行われます。医師は、その検査データをもとに診断し、治療方針を決めていきます。医療が進化するにつれ、こうした検査も高度化し、より専門的な知識と技術を持つ検査技師によって行われるようになりました。現在では、X線やCTは診療放射線技師、臨床検査は臨床検査技師といったように専門領域が分かれています。さらに、臨床検査は、大きく検体検査、生理検査、病理検査の３つに分けられます。患者さんから採取した尿や血液を調べる検体検査、患者さんの体を直接触って調べる生理検査、内視鏡や手術で採取した患者さんの組織や細胞を調べる病理検査です。

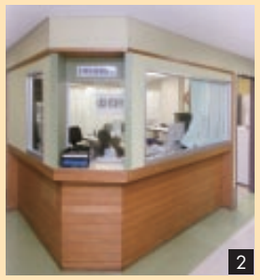
生理検査には、心電図、超音波、呼吸機能、脳波、四肢(しし)血圧脈波、聴力検査などがあります。これらの検査機器は、めざましい勢いで技術進化していますが、最新の検査機器だからといって、いつ誰が操作を行っても正しい検査結果を導き出せるわけではありません。検査技師の力量が大きく問われるため、常に最新の情報を得るとともに、経験を積み重ねてスキルを培うことが重要です。たとえば、超音波の検査では、腹部にガスが溜まっていると正しく画像が表示されないため、体位変換をしたり、水を飲んでいただくなどして、ガスを移動させて撮影するといった工夫も必要となります。さらに、数多くの選択肢の中から、検査目的に合った方法を探し出すために、症例についての幅広い知識と経験が求められます。このように、検査技師は、単に機器類の操作を行うのではなく、正しい検査結果を導き出す重要な役割を担っているのです。

東海大学東京病院では、2012年4月、これまで本館と２号館に分かれていた検査関連の設備を、本館２階の専用スペースに統合して新たな生理検査室を開設し、患者さんの移動の際の負担を大幅に軽減しました。さらに、患者さんに快適に検査を受けていただくために、各検査室は検査機器とベッド、パソコン台のみの設置にとどめ、圧迫感や不安を取り除く工夫を施しています。

また、チーム医療の一員として、医師や看護師との連携によって、より正確な検査結果を出すことを心がけています。心電図などは運動によって心臓に負荷を与えて行うケースも多いため、患者さんの理解と協力が得られるよう、事前に十分な説明を心がけています。



1



2

1 圧迫感を感じることなく検査を受けられるよう、スペースを設けた超音波検査室。
2 本館２階に新設された生理検査室の受付。複数の検査を同じフロアで受けられるため、移動の負担を大幅に軽減できる。



季節の「食」を楽しもう

● サツマイモ ●

［サツマイモのいが栗揚げ］

ふかしたサツマイモの皮をむき、熱いうちにつぶす。砂糖、生クリーム、卵黄、塩を加えて混ぜ、むいた栗を包んで丸める。小麦粉をまぶし、溶き卵にくぐらせて、短く切ったそうめんを周りにつけて、160～170度の油で揚げる。（1個約94kcal、塩分約0.1g）

秋に旬を迎えるサツマイモは、どんな土地でもよく育ち、土の中に実をつけるため、強風にも強い作物です。繁殖力が高いので、かつては凶作や戦時中の食料不足のときに、真価を発揮した食品です。ただし低温に弱く、冬には枯れてしまうため、日本では主に関東以南で栽培されています。主成分は炭水化物で、整腸作用のある食物繊維、ナトリウムを排泄して高血圧を予防するカリウム、疲労回復に効果があるビタミンB_1、さらには、免疫力を高め、抗酸化作用のあるビタミンC、Eなどが含まれています。

サツマイモを切ったときに出てくる白い液はヤラピンというもので、腸の蠕動(ぜんどう)運動を促進する働きがあり、食物繊維との相乗効果によって、整腸作用が期待できます。また、アミラーゼという酵素を多く含むので、時間をかけてゆっくり加熱すると、甘みが増します。石焼きイモやふかしイモは、最適の調理法といえるでしょう。

選ぶときは、全体がふっくらと太く、鮮やかな紅色で、重みのあるものを選びましょう。ヒゲ根が生えているものは繊維が多く、筋張っている場合が多いようです。保存するときは、低温障害をおこすため、冷蔵庫は避けたほうが賢明です。



監修

東海大学医学部付属病院
栄養科
鈴木 太 管理栄養士

「サツマイモは、β-カロテンとビタミンB_2が豊富なカボチャやブロッコリーと一緒に摂取すると、風邪の予防効果がより一層高くなります。旬の時期に、上手に食卓に取り入れてください」

旬のおいしさをたっぷり味わう
［サツマイモのカラフルサラダ］



サツマイモ、キュウリ、ニンジン、タマネギを1センチ角に切る。タマネギは水にさらし、ニンジンはゆでて、サツマイモを蒸す。材料のあら熱がとれたら、すべてをドレッシングで和える。（1人分約137kcal、塩分約0.3g）

表紙オブジェ製作／cocco-dacco

けんこうさろん NO.191　2012年8月20日発行
編集・発行／株式会社ジェー・シー・シー　〒160-0022　東京都新宿区新宿1-5-1　新宿御苑ビル５階　TEL.03-3350-1741
本誌内容についてのご意見等は、株式会社ジェー・シー・シー内『けんこうさろん』係までお寄せください。なお、郵送をご希望の方は、お名前・ご住所・電話番号を明記の上、切手［1回分150円、4回（1年間）分600円］を上記（株）ジェー・シー・シー『けんこうさろん』係宛お送りください。

※本誌では、略称にて記載しておりますが、（ ）内が正式名称です。　略称：東海大学東京病院（正式名称：東海大学医学部付属東京病院）
略称：東海大学大磯病院（正式名称：東海大学医学部付属大磯病院）　略称：東海大学八王子病院（正式名称：東海大学医学部付属八王子病院）



■ネットワークグループ

東海教育産業株式会社
山王総合株式会社
望星サイエンス株式会社
株式会社望星薬局
株式会社中央堂薬品
エィチ・ビーアンドシー株式会社
株式会社セゾオン
株式会社東海ソフト開発